

MiniFlex 1対1接続クイックセットアップガイド

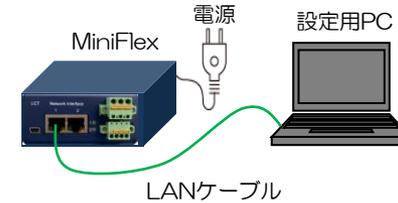
①電源の接続 (弊社オプションACアダプタの場合)

正面から見て、左側がマイナス極
右側がプラス極となります。

オプションACアダプタの場合、
白いケーブル側がプラス極
黒いケーブル側がマイナス極となります。

②機器接続

下図を参考にMiniFlexとPCを接続します。



③基本設定

MiniFlexは親機/子機を自動設定しますので、設定を調整しなくてもリンクアップしますが、細かい調整をする場合は以下の手順でMiniFlexにログインします。

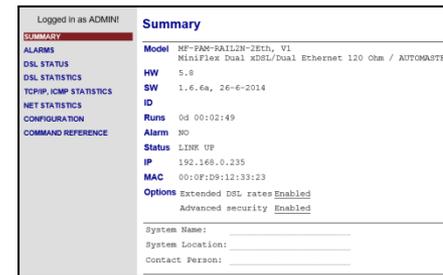
パソコンをMiniFlexと同じサブネットに
セットしてください。
(例) 192.168.0.200



WEBブラウザを開いて
IPアドレスを指定してください。
初期設定 (192.168.0.235/24)



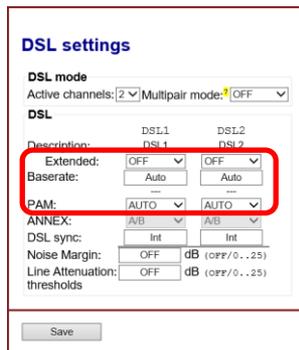
ログインに成功すると、下記のメインメニュー
が表示されます。



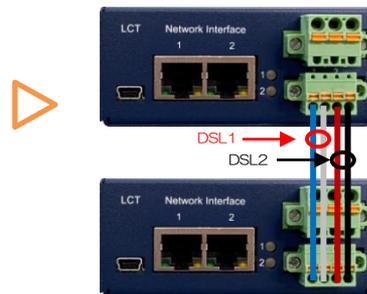
画面左側のメニューから
"Configuration"
をクリックします。

DSL settingsの画面
でBaserate/PAMを
調整して、速度を変え
ます。

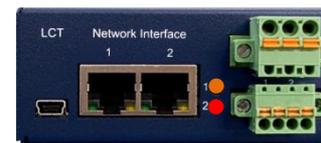
速度の調整方法の詳細
は次ページに示します。



下図の用に、MiniFlex同士を接続します。
正面から見て左側の2つがDSL 1
右側の2つがDSL 2となります。



リンクアップが完了すると、DSLのリンクLEDが点灯します。



DSL 1だけリンクアップさせた場合



DSL1、DSL2を両方リンクアップさせた場合

速度の調整方法

MiniFlexは初期値で速度がAUTOとなっていますが、この状態では速度が最大5.7Mbpsとなっています。5.7Mbps以上の速度で使用したい場合は、設定変更を行う必要があります。以下に例を示します。

① 15.4Mbpsに設定する場合、下記の様に設定を入力します。

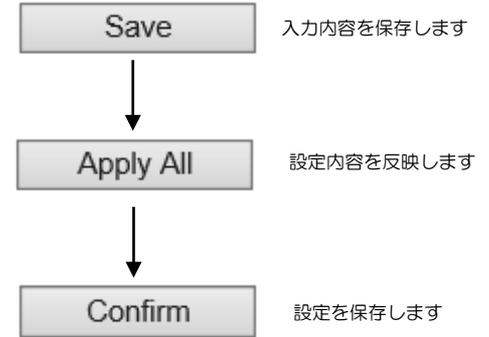
ExtendedをON
Baserateを238
PAMをPAM128

■Extendedについて
ExtendedをONにすると、Baserateを90以上に設定することが出来ます。5.7Mbps以上の速度で通信させたい場合、Baserateを90以上に設定する必要があります。

■Baserateについて
速度の計算は、Baserateの値*64+8となります。
例) Baserateを238に設定した場合
 $238 * 64 + 8 = 15400\text{kbps}$ となります。

■PAMについて
コーディングタイプを設定します。低い伝送速度では、低いコーディングタイプを選択して下さい。

② 設定を入力した後、画面下部のボタンを次の順番にクリックします。



※ 対向で接続するMiniFlexには同じ速度設定を入力して下さい。

PAMとBaserateの設定については、下表を参考に設定を行って下さい。

ExtendedがOFFの場合

コーディングタイプ	ベースレート
PAM16	3~60
PAM32	61~89
AUTO	AUTO (3~89)

ExtendedがONの場合

コーディングタイプ	ベースレート
PAM4	3~39
PAM8	40~79
PAM16	80~119
PAM32	120~159
PAM64	160~199
PAM128	200~238